

平成16年8月25日

各位

会社名 株式会社 構造計画研究所
 (登録銘柄 コード番号 4748)
 代表者役職 代表取締役社長 服部 正太
 問合せ先 I R担当役員 澤田 敏実
 TEL (03)5342-1141

中期経営計画(平成16年度~平成18年度)策定のお知らせ

構造計画研究所は、これまで組織や制度の改革による企業体質の強化や事業の拡大などに努めてきましたが、このたびさらなる成長を目指し、平成16年度を始期とし平成18年度までの3カ年の中期経営計画を策定いたしました。

1. 中期経営計画基本方針

日本経済が回復基調の中、各企業における情報化投資も着実に増加傾向にあります。しかし顧客の複雑化するニーズ、高まるコスト削減要求、また競合他社との競争激化など、情報サービス企業をとりまく環境は厳しい状況です。当社としましては、他社と差別化された「付加価値の高いサービス事業」を目指し、企業体質の改善と事業の開拓を加速させるため、ここに中期計画を策定し実践致します。中期計画の骨子は、以下の2点です。

1. 複雑化する顧客の経営・業務改善ニーズに対して、当社の総合技術力と継続力をもって製品・サービスを提供し、高い顧客満足度を実現する。
2. 年率10%で生産性を向上させ、財務体質をさらに健全化するとともに、事業開発、研究開発、人材開発に積極的な投資を実施する。

2. 経営数値目標

(単位:百万円)

	16年6月期 (実績)	17年6月期 (計画)	18年6月期 (計画)	19年6月期 (計画)
売上高	8,877	9,500	10,000	10,500
営業利益	374	540	730	1,000
経常利益	274	420	620	900
当期純利益	82	160	330	500
事業開発投資額 (売上比率)	215 (2.4%)	290 (3.0%)	300 (3.0%)	315 (3.0%)
研究開発投資額 (売上比率)	140 (1.6%)	190 (2.0%)	200 (2.0%)	210 (2.0%)
人材開発投資額 (売上比率)	88 (1.0%)	180 (1.9%)	200 (2.0%)	210 (2.0%)
人員(年度初期)	536	503	520	540

(注) 人員は役員を除き、嘱託社員は含む人数です。

3. 計画達成のための重点施策

(1) 事業の積極的企画と拡大

総合力を発揮できる営業力の実現

当社は、通信、設計・製造、解析、マーケティング、交通等、幅広い分野で技術を培ってまいりました。今後は複雑化する顧客の業務改善ニーズに答えることができるように、単一のソリューションのみならず、弊社の技術を総合し、多角的な視点で顧客の課題解決にソリューションを提供し、他社との差別化を推進いたします。

コンサルティングビジネスの拡大

顧客へ高付加価値のサービス提供を目指し、複雑で細分化された顧客の問題解決に向け、顧客固有の業務スタイルに合わせた最適なソリューションをご提供できるよう、ソフト開発事業も含めて上流工程のコンサルティングビジネスに注力致します。

製造業顧客の拡大

近年、急成長をみせております製造業向け、営業、設計、製造、在庫管理などに対する支援をさらに拡大し、製造業分野の開拓を活性化します。

建設業向けの新しいビジネスの確立

近年、厳しいビジネス環境にある建設分野には、顧客の生産性の向上、コストダウン、コミュニケーションの活性化をテーマにした施工のマネジメント支援や、資産の有効活用を狙ったFMソリューションを提案し、顧客のニーズにあったビジネス展開を実施します。

経営層に対するソリューションの拡大

従来から、マネジメント支援、意思決定支援などの経営ソリューションを提案してまいりました。今後はこれに加えて業績の管理、分析を支援するソリューションを加え、経営者の迅速な意思決定を支援するビジネスをさらに拡大させます。

(2) 積極的な投資の実施

将来に向けての事業と人材を育成するため、積極的で継続的な投資を実施します。

事業開発投資

毎年売上高の3%程度、事業開発投資を実施します。

研究開発投資

毎年売上高の2%程度、研究開発投資を実施します。

人材育成投資

技術教育、マネジメント教育を柱に、毎年売上高の2%程度、教育投資を実施します。

経営のIT化投資

経営情報の迅速な集計と分析を基に、経営やマネジメントの最適判断の実現を狙って、毎年売上高の1%程度、経営IT投資を実施します。

(3) やる気の出る人事制度の確立

人材が会社の最も重要な財産であることをモットーに、社員の実力を伸ばし、やる気を最大化する人事制度を整備します。

目標管理を中核とした成果主義の徹底

人事交流の活性化による幅広い経験と知識を持った技術者の育成

収益性の向上に直結する人材を毎年着実に採用

以上